

教科	国語	科目	言語文化	単位数	小学科・学年	教科書
				2単位	全科・1年	新編言語文化（大修館書店）
副教材	常用漢字ダブルクリア 5級～2級対応 四訂版（尚文出版）					
学習目標	古今の文章や詩歌に触れ、日本の言葉や文化に親しみ、心情を豊かにする。言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育成する。					

評価の規準・観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、その知識を身につけている。 目的に応じて様々な文章を的確に読み取り、自分の考えを深めたり発展させたりできたかを評価する。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じて、筋道を立てて適切に文章を書けるかを評価する。	国語や言語文化に関心を持ち、自らの言語活動を豊かにするために、積極的に学習に取り組むことができたかを評価する。
・定期試験 ・課題の取り組み状況	・定期試験 ・作文、感想文などの内容 ・授業時の発表内容・発表態度	・ノート、課題等の提出状況 ・授業における態度、意欲
評価の方法	授業における態度、意欲、出欠状況、発表への取り組み、課題の提出、確認テスト、定期試験等を上記の3観点に基づいて総合的に評価する。	

学習の内容（特色を含む）			
月		月	
4	ことばと出会う	10	漢文に親しむ
5	古文に親しむ	11	物語を受け継ぐ
	中間試験		現代に生きることば
6	表現を味わう	12	ことばと生きる
7	随筆を楽しむ	1	近代文学に触れる
	期末試験		旅への思い
9	詩歌の調べ	2	古人に学ぶ
	文化を見つめる	3	学年末試験
	物語の広がり		

担当者からのメッセージ及び特色	
1 授業	小説、古文、漢文を総合的に学習する科目である。日本語の語彙力、読解力、ことばによる表現力を身に付けるとともに、日本の文化についても理解を深めることを目的としている。
2 家庭では	言語文化に関心を持ち、書物や新聞、ニュース番組などを通して自らの疑問点を明確にし、問題意識を持って授業に臨むとよい。
3 特色	現代でも古文漢文に由来する表現が使われ、生活の中に生きている。時代を超えて親しまれてきた言葉や文化を学ぶことは、人生を豊かにする。